

# 岩手大アグリイノベーション研究センター

# SDGs 踏まえ再編

岩手大の次世代アグリイノベーション研究センター(センター長・下野裕之農学部教授)は、今月、教育研究の部門を国連の持続可能な開発目標(SDGs)の視点を踏まえた3部門に再編した。農業技術の開発や食と健康、野生動物と人との関わりなど本県ならではの課題も含めた課題解決に取り組む。農学を中心に多分野が連携して研究し、若年層や地域社会への情報発信や研究成果の還元も図る。

▽生物生産▽食と生活▽生態環境の3部門に再編。各部門に農学部や理工学部の教員を4人ずつ配置。画像解析や深層学習などを支援するデータサイエンスグループ(教員1人)も参画する。

気候変動に適応する持続的な農業技術の開発や温室効果ガス排出量削減、生物多様性の維持などを旨として研究。本県の生物資源を使った素材の開発、海

## 生物生産 / 食と生活 / 生態環境

## 地元密着課題取り組む

### 次世代アグリイノベーション研究センター

#### 生物生産部門

- 本県の海や森の生物資源、産業廃棄物を使った新素材開発



- 新素材を利用した次世代農業技術開発

#### 食と生活部門

- エネルギー制御技術による鮮度保持や食材加工



- 食品の質と栄養学的機能性の向上

#### 生態環境部門

- 牛の林間放牧など動物による人と野生動物の距離創出



- 林業の安全性向上を図るセンシング技術実装

#### データサイエンスグループ

- 画像解析や深層学習

産物の鮮度保持技術開発などを予定する。学生発案のプロジェクトも募集。同大生を対象とし、教員の助言や支援金などで学生をサポートする。

関心を高めるため、高校生や一般市民向けに研究成果を共有する無料セミナーも計画。月1回程度、平日の午後5時から同大で開く。初回は6月2日、下野センター(019-621-6851)、メール(a.c@iwate-u.ac.jp)へ。

セミナーの申し込み、問い合わせは同センター(019-621-6851)、メール(a.c@iwate-u.ac.jp)へ。

期待する。

「大学の研究や最先端分野にどうつながるか知ってほしい」と

とになり、社会とつながり実装したい。高校生にもSDGsへの理解を深めてもらい、今の勉強が大学の研究や最先端分野にどうつながるか知ってほしい」と

野センター長が総合教育研究棟(生命系)で講義する。

同センターは2018年設置。次世代農業研究に取り組んできた。下野センター長は「センターが持続可能性への課題を解決、打開する一つのコア(核)

岩手日報令和4年4月21日付

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。